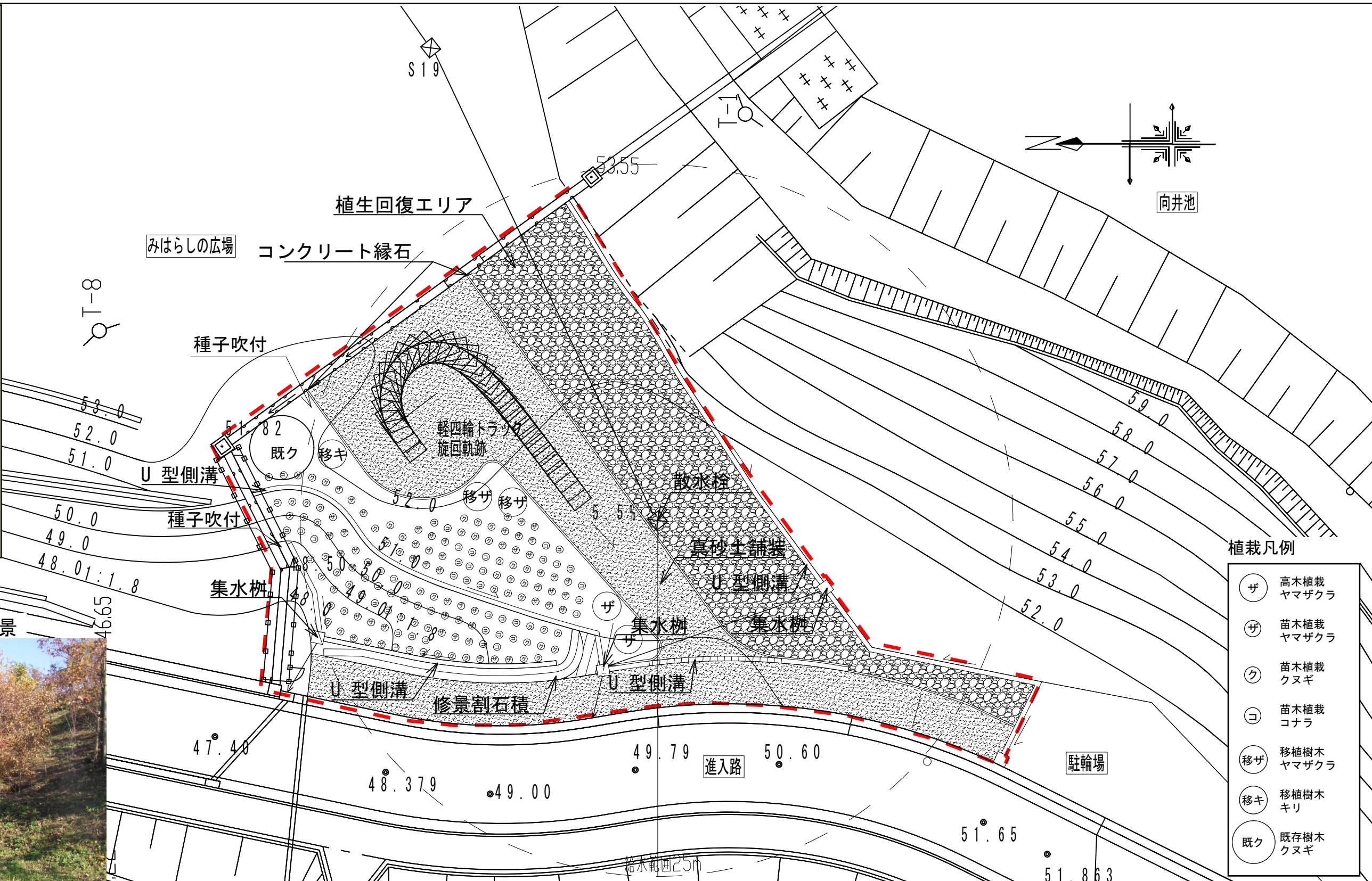


- 現 状
- ・リーディング区域における未整備エリアの1つである。
 - ・みはらしの広場等への管理動線利用がある
 - ・進入路の路側帯はイベント時に駐車利用されている
- 整備方針
- ・「府民が苗木から育て、公園づくりに参画する」プログラムを展開する。
 - ・進入路から見える位置に植生回復エリアを配置し、「みんなで作る」公園を意識できるようにする。
 - ・景観に配慮し、既整備区域と連続性のある法面を整備するため、和泉砂岩の石積みや苗木植栽を行う。
 - ・進入路からみはらしの広場等への管理動線、並びに進入路に沿った駐車スペースを確保し、降雨による土壌流亡を防ぐために舗装を行う。



石積と苗木植栽による修景



植栽凡例

- ザ 高木植栽 ヤマザクラ
- ザ 苗木植栽 ヤマザクラ
- ク 苗木植栽 クヌギ
- コ 苗木植栽 コナラ
- 移ザ 移植樹木 ヤマザクラ
- 移キ 移植樹木 キリ
- 既ク 既存樹木 クヌギ

どんぐりの森づくりプログラム (案)

STEP1 どんぐり拾い

近隣小学校の体験学習等として泉佐野丘陵緑地内の樹林で、どんぐりが芽を出している春・夏に実生を集める。



STEP2 どんぐりの移植

どんぐりの実生をプランター等に移植し、小学校、家庭等で苗木を育てる。



STEP3 どんぐりの植樹

小学校や家庭で育てた苗木を持ってきてもらい、植栽エリアで植樹を行う。



竹林伐採を行った場所や植栽エリアでの植樹後は、園内の伐採木や竹を使ったネームプレートをつくり、植樹の記念に、またどんぐりの木が立派に育つことを願って木にプレートを取り付ける。



向井池北側エリア断面図・パース

